

2023年2月7日(水) 13:00 配信  
ミュージア川崎シンフォニーホール

取材依頼

## 3.11 第10回 被災地復興支援チャリティ・コンサート開催 東北・能登へ祈りを奏でる—4人のホールアドバイザー、東北ユースオーケストラとともに

ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市幸区大宮町1310)は、2024年3月11日(月)に10回目となる「被災地復興支援チャリティ・コンサート」を開催します。

当ホールは2011年の東日本大震災で甚大な建築被害を受け、その復旧のために川崎市民やオーストリア・ザルツブルク音楽祭をはじめ国内外の多くの個人・団体の皆様からご支援をいただきました。3月11日はミュージア川崎シンフォニーホールにとって忘れてはならない日であり、音楽とともに震災犠牲者の皆様に追悼し、復興に貢献するためにチャリティ・コンサートを開催しています。コンサートでは、東日本大震災の地震発生時刻にあわせて黙祷を行うほか、**本公演のチケット収入および場内募金箱へのご寄付を、日本政府を通じた東日本大震災義援金、および日本赤十字社を通じた能登半島災害義援金として被災地へ全額寄付いたします。**



2023年チャリティ・コンサートでの黙祷の様子 © N.Ikegami

### 4人のホールアドバイザーが一堂に集結！ 東北ユースオーケストラとともに坂本龍一の代表曲を

第10回となる今回は、ミュージア川崎シンフォニーホールのホールアドバイザー(\*4人が一堂に集結します。前半の《パイプオルガン&ピアノステージ》では、**松居直美(オルガン)**がJ.S.バッハ:わが魂は主をあがめ(マニフィカト・フーガ)BWV 733と、「鳥の歌」(カタルーニャ民謡)をもとにした、近年活躍目覚ましい**作曲家・松岡あさひへの委嘱編曲作品「楽園の鳥たち」**をソプラノの鈴木美紀子を迎えて初披露します。「平和」と「鳥の鳴き声」をキーワードにした本作にご期待ください。また**小川典子(ピアノ)**は、ラフマニノフの「ヴォカリーズ」(小川典子編)、リストの名曲「ラ・カンパネラ」をお届けします。

後半の《オーケストラステージ》では、東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島県出身の小学生から大学生で構成し、故・坂本龍一が代表・音楽監督をつとめた**東北ユースオーケストラ**を迎えて、**秋山和慶(指揮)**と坂本龍一を深く敬愛する**宮本貴奈(ピアノ・作編曲)**が坂本の代表曲「Aqua」「ラストエンペラー」「戦場のメリークリスマス」などを演奏します。



左上から ホールアドバイザー:松居直美(オルガン)ノ同:小川典子(ピアノ)ノチーフホールアドバイザー:秋山和慶(指揮)ノホールアドバイザー(ジャズ部門):宮本貴奈(ピアノ・作編曲)

\*【ホールアドバイザーとは】ミュージア川崎シンフォニーホールではホールアドバイザー制度を採用しており、国内外で活躍する日本を代表するアーティストがミュージアの“顔”として活動しています。各アドバイザーは、ミュージアの在り方や主催公演へのアドバイス、国内外へのアピール、そしてそれぞれの個性を発揮した企画公演を行います。

\* \* \* \* \*

取材お申込み《締切:3/5(火)》 FAX 044-520-0103 [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

お名前			
ご所属等			
ご連絡先(いずれか)	Email	お電話	

※当日は「招待受付」にお越しください。席券をお渡しします。※公演中のホール内での写真撮影・録音はいずれもご遠慮ください。オフィシャル写真を提供させていただきます。ニュース映像の撮影につきましてはご相談ください。募金の様子など、ロビーでの撮影は腕章をつけてお願いいたします。

#### 【取材に関するお問合せ】

ミュージア川崎シンフォニーホール 事業企画課 佐藤 044-520-0100(代) [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

**【資料1】3月11日に開催したこれまでのチャリティ・コンサート**

主催:川崎市、ミュージアム川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

開催年・タイトル	出演者	募金先・金額
2014年 東日本大震災 復興チャリティ・コンサート 「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子/ジャズピアノ:佐山雅弘/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福沢 宏/ソプラノ:鈴木美登里/ヴィオラ:川本嘉子/サクソ:本田雅人/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,765,365 円
2015年 ミュージアム川崎シンフォニーホールから東北へ 第2回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子(ゲスト)/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福沢 宏(ゲスト)/ピアノ:小原 孝/シャンソン:秋田漣/司会:村上信夫	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 2,181,683 円
2016年 ミュージアム川崎シンフォニーホールから東北へ 第3回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	mimi duo(ギター&ピアノデュオ)/佐山雅弘(ピアノ)+水谷 晃(ヴァイオリン、東京交響楽団コンサートマスター)/小原 孝(ピアノ、川崎市市民文化大使)/山田綾子(ソプラノ)、仲澤和駒(テノール)/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,481,171 円(※1)
2017年 第4回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団	川崎市 東日本大震災被災者等支援基金 1,000,000 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 617,866 円(※1)
2018年 第5回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,516,676 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 758,340 円
2019年 ※工事による休館のため開催なし		
2020年 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演中止 第6回 被災地復興支援チャリティ・コンサート		川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,924,808 円 (※2)
2021年 第7回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子、黒沼香恋/管弦楽:洗足学園音楽大学チャリティオーケストラ/司会:山田美也子	
2022年 第8回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～オルガンとチェロで奏でる祈り～	指揮:秋山和慶/オルガン:松居直美/チェロアンサンブル:山崎伸子、菊地知也、向山佳絵子、長谷川彰子、大友 肇、横坂 源、藤原秀章、矢部優典、上野通明、水野優也、森田啓佑、香月 麗/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金(※3) 1,707,283 円
2023年 第9回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/独唱:塩田美奈子、藤井麻美、中鉢聡、ジョン・ハオ/管弦楽:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団/合唱:被災地復興支援チャリティ合唱団/合唱指揮:中村拓紀/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 1,586,861 円 日本赤十字社 2023年トルコ・シリア地震救援金 277,184 円
2024年 第10回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～4人のホールアドバイザーとともに～	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子/ピアノ:小川典子/指揮:秋山和慶/ピアノ:宮本貴奈/管弦楽:東北ユースオーケストラ/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金

**これまでの寄付金額合計 14,817,237 円**

※1 第3回と第4回は、会場募金から必要経費を差し引いた金額を寄付

※2 第7回は、チケット収入の同額と会場募金の合計および、第6回の公演中止に伴う払い戻しが行われなかったチケット収入の同額を合計した金額を寄付

※3 川崎市東日本大震災被災者等支援基金が2020年度をもって終了したため、寄付先を変更

## 【資料2】出演者プロフィール

### 松居直美（オルガン）

フライブルク国立音楽大学卒業。第21回ブダペスト国際音楽コンクールなど、国内外のコンクールで優勝。国内外で定期的に演奏すると同時に、オーケストラとの共演や啓発活動にも携わる。国際コンクールの審査員も務める。平成25年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。平成26年度下総院一音楽賞受賞。武蔵野市民文化会館でのJ.S.バッハ全曲演奏会が好評継続中。共編著に「オルガンの芸術」（道和尚院）がある。聖徳大学音楽学部教授。ミュゼ川崎シンフォニーホールアドバイザー。武蔵野市民文化会館オルガン・スクール講師。（一社）日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。

### 鈴木美紀子（ソプラノ）

ベルギー王立リエージュ音楽院の歌曲・オラトリオ科をブルミエ・プリ（優秀賞）を受賞して修了。フランス・バロック音楽、16～18世紀のイギリス・ドイツ歌曲やオラトリオなどの宗教歌曲のソリストとして全国で演奏活動を行う。ソリアルバム「美しいフランスの歌」「美しい人は愛の庭に」（リュート：つのだたかし）を発表。「この世の雑念を忘れさせる」（金澤正剛氏・朝日新聞）「優れた工房のクリスタル細工に通じる優美と繊細、透明な美しさを感じる」（美山良夫氏・レコード芸術）と絶賛を得る。《バッハ・コレギウム・ジャパン》《アンサンブル・エクレジア》の海外・国内公演、録音に多数参加、バロックオペラの分野でもその魅力を発揮し、活動の場を広げている。

### 小川典子（ピアノ）

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来30年以上、英国と日本を拠点に国際的で多彩な活動を展開中。BISより40枚近いCDを発売。2021年には世界初録音のR.ドゥヴェンオン「クライスレリアーナ」、「サティ：ピアノ独奏曲全曲集 Vol.4 “ルラーシュ・シネマ”」が次々と発売された。2013、14年にBBCプロムスに連続出演。ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルグ響、BBC響などと共演、また世界各国の音楽祭でリサイタルやマスタークラスを行う。リーズ国際、グリーグ国際、クリーブランド国際コンクール審査員。浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミュゼ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。文化庁芸術選奨新人賞受賞。

### 秋山和慶（指揮）

1941年生まれ。トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキウス響音楽監督を歴任。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、川崎市文化賞をはじめ、東響とともに毎日芸術賞などを受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年文化功労者に選出。同年中国文化賞（広島）、徳島県表彰

特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。現在、中部フィル芸術監督・首席指揮者、センチュリー響ミュージックアドバイザー、岡山フィルミュージックアドバイザー、東響桂冠指揮者、広響終身名誉指揮者、九響桂冠指揮者、洗足学園音大芸術監督・特別教授、京都市芸大客員教授など多くの任を務めている。ミュゼ川崎シンフォニーホール チーフ・アドバイザー。

### 宮本貴奈（ピアノ・作編曲）

国際的に活躍するピアニスト・ヴォーカリスト・作・編曲家。米バークリー音楽大学、ジョージア州立大修士卒。全米エドマンジャズピアノ大会優勝。「アトランタベストジャズアクト（2年連続）」「ジョージア州で最も影響力のある女性」他受賞。参加作が2001年米グラミー賞2部門でミネート。20年間米英を拠点に活動後、2013年帰国。ソロ活動の他、八神純子、佐藤竹善、サラ・オレイン、小野リサ、大黒摩季、May J.、絢香、稲垣潤一他共演。2020年CD【ワンダフル・ワールド】でミュージック・ペンクラブ音楽賞最優秀作品賞受賞。作・編曲、プロデュース、音楽監督、オーケストラ、TV・映画の劇伴音楽まで幅広く手がける。国立音楽大学ジャズ専修講師。2023年4月よりミュゼ川崎シンフォニーホールのジャズ部門ホールアドバイザーに就任。茨城県結城市出身。

### 東北ユースオーケストラ（管弦楽）

東北ユースオーケストラは、2013年9月から10月にかけて、宮城県松島町にて開催された東北と世界をつなぐ音楽祭「Lucerne Festival ARK NOVA 松島 2013」をきっかけに企画・編成されたオーケストラです。楽団員は東日本大震災の被災三県（岩手県・宮城県・福島県）を中心に、ふだんは異なる組織で演奏をしている小学校・中学校・高等学校・大学の子どもたちが、プログラム（演奏）ごとに楽団編成を変えながら活動します。東北ユースオーケストラの活動は、単なる演奏目的にとどまりません。東北の子供たちが、優れた音楽家による指導や演奏をはじめ、普段は会うことのないさまざまな人々との交流を通じて世界を知り、沢山の仲間たちとともに経験していく「成長の場」と考えています。子どもたちの活力が、周囲の大人や地域全体、そして東北全体に活力を与え、あたらしい未来をつくりだすことを目指しています。“音楽でしか表現できないことが、沢山ある。言葉ではうまく伝えられないことも、音楽では伝えることができる。私たちは音楽を通して多くの感動を伝えていきたい”そんな思いを胸に、震災を乗り越えて生まれた強くて美しい音楽を、東北から全国、そして世界へ届けていきます。

